

青少年プログラムにおける危機管理 -ハラスメントを中心に-

RID2660 2025-26年度
危機管理委員長 延原健二

2025年8月30日
クラブ青少年奉仕合同委員長会議



RIの基本的考え方

ゼロトレランス（ゼロ容認方針）

国際ロータリーは、青少年に対するハラスメントや虐待は絶対に容認せず（ロータリー章典2.120.2）、すべての会員およびロータリーの会合、行事、または活動に出席または参加する個人は、いかなる形のハラスメントのない環境を維持することに力を注ぐべきであるとの方針を明らかにしています（ロータリー章典26.120）。

72時間ルール 青少年奉仕プログラム参加者すべてを対象

- ・ 青少年に対する虐待やハラスメント（嫌がらせ）の申し立てなど、報告を受けてから（報告が上がった場合）その真偽や重大性、刑事上の事件性があるなしにかかわらず72時間以内に報告するというものです。（ロータリー章典2.120.2）
- ・ 青少年交換プログラムにおいては、RIに報告すべき重大事故や重篤な疾病、死亡、早期帰国、犯罪などが発生した時にも72時間以内にRIに報告する必要があります。RI理事会は、個人、クラブ、地区が、適時の報告を故意に行わなかったことを知った場合、クラブを終結させる場合があります（ロータリー章典41.050.7）。
- ・ RIへ報告してその後、外部委員も含めた危機管理委員会で、真偽の調査や司法当局へ通知が必要かどうかを判断する。
- ・ 虚偽の報告とか、勘違いによる報告とか重大なトラブルではなく当地区内で十分解決できる事案であったなどの可能性もあるが、その後の手はずと調査の結果、および結果としてとられた措置について、再度RIに事後報告する。（報告は30日以内を目安とする。）



ロータリーにおける ハラスメントへの理解

よいことの
ために
手を取りあおう

1989年セクシャル・ハラスメント
男女雇用機会均等法

日本初のセクハラを争点とした裁判

2001年パワー・ハラスメント
労働施策総合推進法

(株)クレオ・シー・キューブによって和声英語「パワハラ」提唱

ロータリーは、地域社会のリーダー的メンバーによって構成されている。

このため、常に高い道德性と法的責任を超えた社会的責任が求められている

「そんなつもりはない」は、通じません。

相手が不快に感じたら、それは「ハラスメント」になる恐れがあります。

ハラスメントとは何かを認識することが、最も有効な防止策です。

重要なことは、相手の人格を尊重すること、多様性を認めること、異文化を理解する姿勢です。

ロータリー米山記念奨学会 奨学事業ハンドブック

2025年8月30日
クラブ青少年奉仕合同委員長会議



RID2660地区行事・セミナーでの ハラスメント防止のための方針

(2023年度より)

よいことの
ために
手を取りあおう

- ① 未成年者が参加する宿泊を伴う青少年プログラムにおいては同行ロータリアンの飲酒を禁止する。
- ② ロータリー主催のプログラムであることを自覚し、地区委員・参加ロータリアンが積極的に事業へ関わる必要性を、改めて強く認識するように促す。
- ③ 地区へ出向する人の選定、選出に関し、クラブへ②の必要性を理解し協力できる人の推薦を依頼する。
- ④ 研修旅行などにおける同行ロータリアンの義務や注意すべきこと等を、毎年、確認するとともに、危機が生じた際の対応を見直し、周知徹底する。

2025年8月30日
クラブ青少年奉仕合同委員長会議



各クラブからの 地区委員候補者選考方法

よいことの
ために
手を取りあおう

地区委員候補者の選出条件

- クラブの瑕疵なき正会員
- ホームクラブの例会および行事や事業に積極的に出席している者
- 委嘱された地区委員の職務を、熱意をもって遂行する意思と能力を有する者
- 将来のリーダーとして有望な者
- 出向歴が継続、非継続にかかわらず10年を越えない者
- ロータリアンの行動規範を遵守できる者

ロータリアンの行動規範

よいことの
ために
手を取りあおう

全会員（ロータリアンおよびローターアクトー）には以下のことが求められる：

- 1.個人として、また事業において、高潔さと高い倫理基準をもって行動する。
- 2.他者に公平に接し、敬意をもって接すること。これには、他者を尊重する言葉を使う、サポートを示す、温かく迎え入れるインクルーシブな環境を助長する、多様性を重んじるという「ロータリーの多様性・公平さ・インクルージョン（DEI）の行動規範」を遵守することが含まれる。
- 3.ロータリーを通じて自分の職業スキルを生かし、地域社会や世界のほかの地域の人びとの生活の質を高める。
- 4.ロータリーやほかのロータリー会員の評判を落とすような言動は避ける。
- 5.ロータリー関連行事のすべての行動規範に従う。

（2023年4月理事会会合、決定114号）

ハラスメント事案が起こったら

青少年プログラムにおけるハラスメント事案は、発生後速やかに地区危機管理委員長に報告

米山奨学事業におけるハラスメント事案は、発生後速やかに、地区米山奨学委員会と地区危機管理委員会に報告

地区米山奨学委員会と地区危機管理委員会が協働で対応

「対応しない」、「隠蔽する」は最も危険なことであり、絶対に許されない

2025年8月30日
クラブ青少年奉仕合同委員長会議



第2660地区 危機事案発生時の対応

よいことの
ために
手を取りあおう

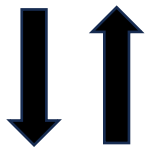
ロータリークラブ、ローターアクトクラブ
地区委員会、地区事業活動中

ゼロトレランス

- ・ 青少年に対するハラスメントや虐待は絶対に容認せず

① 危機事案発生

② 速やかに報告



③ 助言、指導

ガバナー、地区危機管理委員会

- ・ 地区委員会及び地区事業の活動の中で発生した事案は地区内で解決する。
(但し当該者を地区に派遣しているクラブ会長に報告する)
- ・ ロータリークラブ、ローターアクトクラブ内で発生した事案はクラブ主体で解決する。
(地区危機管理委員会は必要に応じて助言を行う)
- ・ 安否確認が必要な場合は、クラブ、地区委員会が確認し、ガバナー及び地区危機管理委員会に報告する。

③ クラブ内、地区委員会内で解決できない場合は、
危機管理委員会が対応

④ 必要に応じて
ガバナーから報告



国際ロータリー
クラブ・地区支援室

- ・ 青少年に対する虐待やハラスメント（嫌がらせ）の全ての申し立ては、報告を受けてから（報告が上がった場合）その真偽や重大性、刑事上の事件性があるなしにかかわらず72時間以内に報告する。
- ・ 青少年交換プログラムにおいては、R1に報告すべき重大事故や重篤な疾病、死亡、早期帰国、犯罪などが発生した時にも72時間以内にR1に報告する。



2024-25年度 RID2660 青少年のためのハラスメント相談窓口

よいことの
ために
手を取りあおう

国際ロータリー第2660地区には「ハラスメント相談窓口」があります。

第2660地区のプログラムに参加する青少年の皆さんが日本にいる間、安心して過ごせるように、何でも相談できる窓口です。もし、皆さんがロータリークラブやロータリークラブの行事に参加したときに、疑問や不安なことがあって、カウンセラーやロータリアン、ホストファミリーに相談しにくいことがあるときは、この相談窓口メールを送ってください。英語でも日本語でも、大丈夫です。相談員が皆さんのプライバシーを守って対応します。

【第2660地区 青少年のためのハラスメント相談窓口】

専用メールアドレス anytime@ri2660.gr.jp

使用言語 英語または日本語

窓口担当者 ガバナー事務所 杉本 亜鶴巳

相談員 間石 成人 (地区危機管理委員/高槻西ロータリークラブ)

磯田 郁子 (地区危機管理委員/大阪東淀ちゃやまちロータリークラブ)

丹 雅婷 (米山学友・関西)

Rotary international District 2660 has a "Harassment Consultation Contact for young people participating in Rotary programs", which ease your anxieties during your stay in Japan. You can make contact with counselors anytime if you feel uncomfortable or feel like you've been harassed when you participate in Rotary club meetings and some other Rotary events. Please feel free to send an e-mail anytime when you are in trouble and find it difficult to speak to your host family and club counselor. It does not matter if it is English or Japanese. The counselors will protect your privacy and respond to you.

Best regards,

Hidehori Ohashi
District Governor 2024-2025
Kenji Nobuhara
Crisis Management Committee Chair / IPDG
District 2660, Rotary International

Rotary International District 2660

Harassment Consultation Contact for youth participants in Rotary programs

E-mail : anytime@ri2660.gr.jp

Language : English / Japanese

Contact Person : **Ms. Azumi Sugimoto** (Governor's Office Staff)

Counselor : **Mr. Narihito Maishi**

(Crisis Management Committee Member/ RC of Takatsuki West)

Ms. Ikuko Isoda

(Crisis Management Committee Member/ RC of Osaka Higashiyodo Chayamachi)

Ms. Shan Ya Ting (Yoneyama Alumni Association Kansai)



2024-25年度 RID2660 緊急連絡携帯カード

よいことの
ために
手を取りあおう

青少年に係わるハラスメントが発生した場合は、直ちに危機管理委員会に報告をお願い致します。連絡先は下記の通りです。

委員長 延原 健二 090-8536-4216

副委員長 間石 成人 090-4272-1636

(応答がない場合、上記電話番号にショートメール(SMS)にてご連絡ください)

ガバナー事務所 電話 06-6264-2660

尚、各クラブ会長・幹事の方々は、下記の名刺サイズの緊急連絡カードを切り取り、常時ご携帯ください。

緊急 24H 緊急時は昼夜に問わず 下記にご連絡ください 危機管理委員会 緊急連絡先 延原健二（委員長）090-8536-4216 間石成人（副委員長）090-4272-1636 (応答がない場合、上記電話番号にショートメール(SMS)にてご連絡ください) ガバナー事務所 06-6264-2660 ※ガバナー事務所は平日 9:30~18:00	緊急 24H 緊急時は昼夜に問わず 下記にご連絡ください 危機管理委員会 緊急連絡先 延原健二（委員長）090-8536-4216 間石成人（副委員長）090-4272-1636 (応答がない場合、上記電話番号にショートメール(SMS)にてご連絡ください) ガバナー事務所 06-6264-2660 ※ガバナー事務所は平日 9:30~18:00
--	--